

## 放課後児童クラブと 放課後子ども教室の拡充を

子育て

**議員** 子どもたちを見守るネットワーク、まちづくりを進めなければなりません。放課後児童クラブの対象を6年生まで引き上げることや、子どもの居場所づくりとしての放課後子ども教室の拡充の考えはありますか。



坂本三郎議員  
(志民の会)

**市** 放課後子ども教室は実施校の拡充に向け働きかけます。

放課後児童クラブの対象学年の引き上げは施設整備の問題、職員配置等の課題も多く、現行の学年で対応したいと考えています。放課後子ども教室の拡充は小学校やPTAなどの実施主体となり得る団体に、開設に向けて働きかけます。(健康福祉部長)

**他の質問** 太陽光発電など再生可能エネルギーの取り組み

## 神鉄線へのJR乗り入れ による交通網の再編を

交通

**議員** 神鉄線へのJR乗り入れによる交通網の再編を提案します。ウッディタウン中央から大阪まで直通となれば、通勤通学が楽になり三田ニュータウンの魅力も大いに高まります。



野上和雄議員  
(志民の会)

**市** 安全面など総合的に実現は困難な状況です。

鉄道事業者や県に問い合わせたところ、車両の大きさや信号設備等が異なり、施設やシステムの改修を伴うため経営を圧迫します。また、通勤通学時間帯には過密な運行ダイヤとなり、安全面など総合的に実現は困難であると伺っています。(都市整備部長)

**他の質問** 三田市学園都市構想、シルバー人材センターの経営状況と活性化策、水害・濁水対策、平谷川ホテルの再生と濁水時への対応

## 災害情報が個々に伝わる 仕組みづくりが必要

防災

**議員** 防災・減災に関する市民意識調査を実施し1551人から回答を得ることができました。その結果、市民への情報不足と意識向上が課題としてあがり、また災害情報が迅速かつ確実に個々に伝わる仕組みの強化が求められています。



松岡信生議員  
(公明党)

**市** 自助・共助・公助、これらの連携と分担が大切。

特に集中豪雨や巨大地震の大規模災害では、自助・共助・公助、これらの連携と分担が大切だと考えます。(市長) 様々な情報媒体と効果のある伝達機能を有する情報ネットワークの構築を図るべく検討、計画を進めています。(総務部長)

**他の質問** 「支えあう社会」の実現、買い戻し土地の活用

## 防災会議に女性委員の 積極的な登用を

女性参画

**議員** 防災・減災の取り組みには、災害弱者となり得る女性の声を反映させる仕組みが大切です。定数30人のうちの欠員に、看護や子育てなど女性が得意とする分野から委員を選出し、女性の視点を防災に活かしてください。



平野菅子議員  
(公明党)

**市** 積極的に進めます。

東日本大震災での避難者のご要望として、女性の視点から様々な問題点が指摘されています。地域防災計画の策定段階から女性の視点や声を反映させることは大変重要であり、女性の登用が積極的に図れるよう検討を進めてまいります。(市長)

**他の質問** 高齢者バス・鉄道乗車券の利用用途拡充、コンビニでの証明書の交付、子どもの健康を守る予防接種

## フットサル場を増やすべき ではないでしょうか

施設

**議員** フットサルは屋内競技として近年盛んです。少年・シニア大会・女性リーグなど人気が上がっていますが、三田市内でできる施設が1か所しかありません。屋内施設の改修や、屋外での増設などを検討すべきではないでしょうか。



厚地弘行議員  
(新政みらい)

**市** 城山体育館での利用や、屋外でも促進します。

大人から子どもまで楽しめるスポーツとして競技人口は増加しています。城山体育館での利用ができるよう壁面対策を考えます。また屋外施設での利用を促進するため、状況を見ながら備品整備を進めます。(市長)

**他の質問** 囲碁・将棋の振興、障害児の子育て支援、福島県内の子どもへの支援・ローテーション保養、新しい認定NPO法人制度

## 市民病院の脳外科医不足と 医師や看護師の負担軽減は？

医療

**議員** 4月から市民病院の脳神経外科の診療体制が1人となりましたが、補充の予定はどうか。また、入院患者数が年々増え、手術件数も増加しています。医師や看護師の負担軽減策は？



長尾明憲議員  
(日本共産党)

**市** 脳外科医の確保は見通しがつきつつあります。

脳外科医の確保については、病院長ともども医大へ再三再四参り、ようやく明るい見通しがつきつつあります。(市長)

医師や看護師の負担軽減は、医師事務作業補助者や病棟看護アシスタントの配置など様々な取り組みにより、負担を軽減しています。(市民病院事務局長)

**他の質問** 公立幼稚園の預かり保育

## どう進める？高齢者の地域活動

地域

**議員** 自治会と元気な高齢者が地域コミュニティ活性化の核になると考えますが、老人クラブの加入者が減少しています。今後の対応をお伺いします。



今北義明議員  
(盟友会)

**市** 地域と協議し、支援します。

老人クラブで活動されている元気な高齢者の皆さんには、地域づくりの担い手としての活動に期待し、その所管を健康福祉部からまちづくり部に移しました。活動を積極的に支援していきます。(市長)

加入者減少については老人クラブだけではなく地域の課題ととらえ、地域団体などと協働で対応します。(まちづくり部長)

**他の質問** 小中学校の太陽光発電、公用車のエコ化

## 三田幹線道路の自転車、 原付バイクの安全確保は？

安全  
交通

**議員** 三田駅前、テクノパークを結ぶ三田幹線道路での自動車と並走して走る自転車、原付バイクの安全は確保されていますか。側道などの整備、また二輪車に対する規制を設ける計画はありますか。



田中秀典議員  
(志民の会)

**市** 早急に県、公安委員会に提案します。

三田幹線はテクノパークや関西学院大学等への通勤、通学にも多く利用されていることを認識しています。速度の遅い自転車や原付バイクの安全対策のため、交通規制等について道路管理者である兵庫県並びに交通管理者である公安委員会に早急に提案してまいります。(都市整備部長)

**他の質問** 三田駅前Bブロック、高齢者が活用できる公園・広場の整備

## 空き家対策・「移住・住みかえ 支援機構」との連携は？

生活

**議員** 移住・住みかえ支援機構(JTI)の『マイホーム借上げ制度』を活用すれば、空き家対策だけでなく、子育て世代の誘致等の有効な手段になります。今後の連携と三田市独自の施策を伺います。



田中一良議員  
(新政みらい)

**市** 窓口を準備中、市独自の施策も研究します。

防犯上の理由や若者世帯の定住促進を図る上でも『マイホーム借上げ制度』は有効と考え、相談窓口の設置に向けた準備を進めています。今年度策定する「住宅基本計画」にて市民、事業者、行政それぞれの役割を検討する中で、市独自の施策も研究します。(都市整備部長)

**他の質問** 地域担当制、高齢者世帯・独居老人対策

**説明** 移住・住みかえ支援機構(JTI)：住宅の借上げ・転貸を行う社団法人。ハウスメーカーなどが中心になり2006年に設立されました。

**マイホーム借上げ制度**：移住・住みかえ支援機構(JTI)が提唱する制度。高齢者などの保有する住宅を借上げ、国の基金によるサポートで賃料を保証して子育て世帯などに転貸することで住宅所有者は安定した家賃収入を得ることができ、借主は良質な住宅を割安な家賃で借りることができます。